



Fresenius Medical Care

2007年1月16日

2007.1.16 独/フレゼニウス メディカル ケア社は、ドイツ・St.Wendel にある工場のダイアライザーの生産量を増やすことを発表しました。

独/フレゼニウス メディカル ケア社は、ドイツ・St.Wendel にある工場のダイアライザーの生産量を40%拡張する予定である。FX クラスダイアライザーに使用されているヘリクソン膜のための追加・増設費用を含み、36 百万€の投資がされる予定である。FX クラスダイアライザーの新しい生産ラインは2008 年春に開始する予定であり、年間の単回使用のダイアライザー生産量は25 百万から35 百万に増加する。

ヨーロッパにおけるダイアライザーの主要な生産拠点であるドイツ・St.Wendel 工場の拡張は、アメリカ・Ogden 工場、及び日本の豊前工場に次いで実施される。この2つの拡張計画に伴い、年間生産量は世界規模で約11 百万までの増加を予定している。

独/フレゼニウス メディカル ケア社のCEOであるDr.Ben Lippsは次のコメントを寄せた。「継続的な世界規模の生産ネットワークは、フレゼニウス メディカル ケア社の慢性腎不全患者さんを治療するための単回使用のダイアライザーや、革新的な製品への強い要望に応えたものである。加えて、St.Wendel 工場への投資は我々の本国であるドイツ・そして、良質で革新的でありながら費用効果のある製品のために素晴らしい自社固有の専門知識を築き上げた1,500名を超える従業員へのはっきりとしたコミットメントを示している。」

フレゼニウス メディカル ケア ジャパン株式会社